

(JAPLA 2010/11/27)

雑感『三十一文字』

統計数理研究所(名誉教授) 鈴木義一郎

《世相を詠む》

【09年】

そもそもが 実現できぬ マニフェスト チェンジに踏み切る トップの度量  
10代で 賞金王とは 驚いた 入れてはならぬ “女性”バンカー  
不況風 明るく元気に ブットバセ 心の豊かさ 求めよう

【08年】

職も無く 住む家も無い パート社員 年を越せるか 死を選ぶのか  
振り込めの 被害を回避 できるのか 弱みに漬け込む 卑劣な手口  
リョウちゃんよ 1年だけで 終わるのか プロの世界は ソー甘くない

【07年】

国会を どげんかせんと イカンバイ かけひきばかりで 会期延長  
大国が 知らんぷりする 温暖化 皆んな持とうよ エコ・バック  
市原の 私大に勤めて 丸7年 どう過ごそうか サンデー・毎日

【06年】

教育の 効果は100年 後に出る “いじめ”は単なる 前兆現象  
入札は フェアプレイが 原則よ 選挙がらみの 官製談合  
「金」をとり 直ぐに転身 イナバウアー Qちゃん引き際 誤ったかも

【05年】

ネクタイを はづした後は 何を着る センス問われる クール・ビズ  
民営化 末席候補が 代議士に 想定外の 小泉劇場  
安全を 犠牲に広さを P.R. 売りも売ったり 欠陥住宅

【04年】

中越の 地震に幼児の 虐殺と 皇家の慶事に かすかな救い  
ひた隠す 北の思惑 諮りかね 右往左往の 日本外交  
仙台に 新規加入の 楽天で 日本の野球は どう変わるのか

【02年】

年始には 田中外相の 辞任劇 ノーベル田中で 暮れた02年  
6割の 富を占めてる アメリカ人 脅かすもの 断固制裁  
『100人村』の 本を読んでよ! ブッシュさん

《豊かな心を 磨くため 臨床心理を学ぼう!》

【いのち一番 ニコニコ二番 福祉で活躍 できる人】  
ニコリと 笑顔で応対 することが 相手なごます 最強の技  
利用者の 笑顔引き出す するために 自ら笑う 努力が肝心  
いい顔で 応対すれば 相手にも いい顔与えて 福祉の現場  
感性が 豊かで優しく 応対し 笑顔が周りを 安心させる  
利用者 と 明るく挨拶 よい関係 築いていくのが 福祉の原点  
自分から 喜ぶ姿勢を もつことで まわりも喜び ストレス解消  
トラブルも 楽しむ姿勢 貫いて めでたく解決 福祉の現場  
福祉では 知識や技術の 量よりも 相手の喜び 楽しめる人  
生真面目で 卒なくサービス するよりも 笑いの絶えぬ 明るい福祉  
卒がなく 仕事を上手に こなすより 燃えて福祉の 世界に生きる  
遊びこそ 心の余裕 取りもどす 人間尊ぶ 福祉をめざせ  
スムーズに 人間関係 保つため 上手に使い 単なる雑談  
利用者に 感動・喜び 感じさす そんな施設が 欲しいのよ

#### 【福祉の心】

今はまだ 障害なしと 思うことが 障害者との 距離を縮める  
障害を もつ人たちとの 付き合いで 謙虚に学べ 福祉の心  
障害を 楽しみ生きる 人たちに 教えて貰った 福祉の心  
ぬくもりの ある会話こそ 大事やねん 共感しあえて 福祉の心  
言葉より 動作の意味を 把握して 始めてできる 真の関係  
いたずらに 権威を頼りに したりせず 感性あふれる 福祉を目指せ  
時として 試しているよな 弱者の目 感じて磨こう 福祉の感性  
利用者 と 心を込めて 付き合えば 感性豊かな 優しい福祉  
感性の 乏しい人から 脱皮せよ やわらか頭で 人と交われ  
知識より 感性磨く 発想が 心豊かな 人間作る  
利用者 と 同じ目線で 探知せよ 改良点を 思わず発見  
「そんなこと どうせ君には 無理だろう」その一言が やる気を無くす  
利用者の 立場からみた 環境を 与える努力が 福祉の精神  
不器用な 利用者がいて 当たり前 気配り目配り 忘れぬ姿勢  
ガンバレは 苦悩の人には 通じない 悩む心を 共に味わえ  
余裕ある 心でのぞめぬ 態度では もはや限界 家庭内介護



### 【豊かさと 人を大事に する福祉】

利用者が 施設を選択 する時代 与えるだけの 福祉は終わり  
特別の 人だけ相手は 過去のもの 今後の福祉は すべての人に  
しっかりと 世間の変化 見定めて 時代先取る 福祉をめざせ  
豊かさが ほどほどにある 時代では 個別の不幸に 目を向く福祉  
何よりも 相手の生き方 尊重し 広い心で 福祉の仕事  
この一瞬 生まれ合わせた 人同士 手を貸しあって 優しい福祉  
福祉では 機械に頼る 治療より 人間的な 介護が肝心  
ハイテクの 時代だからこそ 人間を 大切にする 福祉でありたい  
小手先の 福祉で済ます ことなかれ 大きな視点で 見つめよ本質  
ぬくもりが 目には見えねど 感じさす すてきな雰囲気 明るい施設  
量よりも 質を大事に することが 利用者喜ぶ 福祉の施設  
現実と 理想のバランス どうとるか 常に前進 福祉の事業  
諸制度と 施設の整備 いただけじゃ 真の福祉は 実践できぬ  
環境や 施設の充実 凶るより 弱者を大事に 扱う社会  
ハンディを 背負い何かを やりとげる 手助けこそが 福祉の仕事

### 【モノだけで 真の福祉は 実践できぬ】

たくさんの モノがなければ 暮らせぬか 施設はめざせ 真の豊かさ  
カネ・モノを 目の色変えて 追いかけた バブルで気づく 福祉問題  
カネ・モノの 豊かさだけじゃ 不十分 より良く生きる 自分をめざせ  
金儲け だけで福祉は 務まらぬ 天職として 好きで働け  
「得」よりも 「徳」を求める 精神が 心豊かな 福祉に通ず  
何のため 誰が相手の 便宜さか 見極めるのが 理想の福祉  
目に見えぬ 仕事のほうの 大切さ 弁え実行 福祉の仕事  
便利さを 求めすぎでは 忘れ去る 福祉の仕事で 大切なもの  
ケーキより 飽きぬおいしい 米の飯 目立たず地味な 福祉活動  
柔軟な 頭と豊かな 心もち 幾度も反省 福祉の現場  
難解な 福祉の理念 説くよりも 個別に対応 福祉の現場  
何ごとも 疑問をもって 探りだせ 個人個人の 真の問題  
利用者と 同じ目線で 探知せよ 改良点を 思わず発見  
無理強いの 親切なんて 迷惑よ 人はいろいろ 適度が肝心

【「長寿社会」は 喜ぶべきことか】

長寿国 だけで素直に 喜べぬ 見つけよ自分の 真の生き方  
心から 長寿を尊ぶ 社会こそ 真に豊かな 文化国家  
こんなにも 長生きできたは 想定外 あわててさがす 余生の生きがい  
定年の 後の余生を どう生きる ぼんやりしてれば みじめな老後  
早くより 老後の生きがい 探すこと ぼんやりしてれば ボケ老人  
意義深い 時をたくさん もつことが 長寿時代の 豊かな人生  
寝たきりに ならず済ます 保証はない 頼りにできる 家庭が本命  
好奇心 無けりゃすべてが 面倒だ 常に保とう 心の若さ  
医療より 喜び与える 対応が プラス思考の 老人作る  
老人も 気軽に動ける バリア・フリー ボケや寝たきり 防ぐ策なり  
楽しみを ひたすら求めて 生きるより 他人のためにと つくす人生  
人はみな 願わないのに 病み・老いる 年齢を重ねて できる実感  
精神を 老化させずに 生きてこそ 長寿を満喫 不良老人  
老人も 色気やしゅれけ 失わず 明るい服着て はつらつ生きよう  
笑みをもち 背筋をのばし ゆったりと おいしく老けん おいものように

【子どもの目線で 考えよう】

子どもの目 子どもの立場で 考えよ 大人もかつては 子どもだった  
「問題」が あるから生まれる 問題児 この「問題」を 解くことが先  
困らせる 子どもがいても 当然よ “いい子印”の 子どもにするな  
いたずらは 子どもにとって 特権よ きつくとがめりゃ 非行が増える  
家庭での しつけ・習慣 こそ大事 パパの無力が 問題児生む  
偏差値や 規則が先行 しすぎると 子どもは感じる 息苦しさを  
何にでも 「ヤッタ」と感じる 体験が 自尊心ある 子どもに育つ  
「ありがとう」 素直に感謝 する子ども お間違いなら 「ごめんなさい」  
本当の 神様いれば 弱い人 救われるのにと 子どもは思う

この世には 不思議で分からぬ ことだらけ 幼児に問われ 首をかしげる